

# 『黒森歌舞伎』〜世代を超えた交流の場〜

酒田市立黒森小学校長 佐藤 寿尚



「大道具とか小道具とかの人も準備してくれて、そのおかげでできるのかな。」

昨年三月にさくらんぼテレビの番組の中で本歌舞伎の子役を演じ、インタビューに応えた当時三年生の男の子の言葉です。そして、四月の人事異動で黒森小学校の校長を拝命し、どんな出会いが待っているか、この上ない喜びを感じたのを思い出します。

さて、黒森小学校では平成十年から少年歌舞伎が、平成十二年から少年太鼓がそれぞれ始まりました。この活動を支えてくれているのが黒森歌舞伎座員の方々であり、支援委員会の保護者の皆さんです。また、子どもたちは、先輩からの指導や先輩が演じている姿から学んでいます。「まねぶ」とは「まねぶ」とことと同源であることを実感する場面です。また、本校では、少年歌舞伎・

少年太鼓の継承だけでなく、黒森歌舞伎を広く知ってもらうための活動にも力を入れています。高学年が中心となり、「くろもりん」に続く、少年太鼓のキャラクターとして「いろどりん」を考案しました。デザインの久松理子さんの協力を得て、お披露目できました。また、CMソングを作り、ハイパーラジオで放送したり、手作りののぼり旗を作成したり活動意欲が旺盛です。低学年では、歌舞伎にまつわる傘福を制作し盛り上げました。

昨年十一月には「全国農業担い手サミット」の歓迎アトラクションの場で少年歌舞伎を披露しました。山形県を代表する伝統文化の一つであることの証と言えます。その上演に向けて少年歌舞伎の練習が例年より早く七月から始まりました。そこで支えてくれたのは、やはり地域の方々であり、保護者の皆さんでした。冒頭のテレビ番組の中で、レポーターの白崎映美さんが「黒

森歌舞伎は世代を超えた交流の場ですね。」と述べていました。その言葉が示すように子どもたちは地域の中で守られ、育てられていることがわかります。そして、地域を愛し、地域の未来を創りだす黒森っ子の活躍はこれからも続きます。

## 酒田公演



### ●黒森歌舞伎保存会事務局●

〒998-8540  
山形県酒田市本町2-12-145  
酒田市教育委員会 社会教育文化課内  
電話・0234-124120994  
FAX・0234-123122557  
Eメール・bunkazai@city.sakata.jp  
黒森歌舞伎への「意見」・要望、公演の感想などお寄せ下さい。今後の参考にさせていただきます。



# 黒森歌舞伎 保存会だより

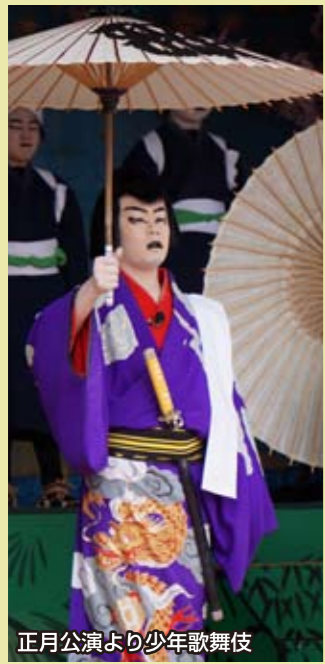
二月十一日号



## 正月公演「ひらかな盛衰記」と公演

せいすいぎ

2月15日と17日の両日、恒例の黒森歌舞伎正月公演が行われました。19年ぶりに上演された『ひらかな盛衰記』の熱演に、日枝神社の境内では、大勢の観客が寒さを忘れて芝居を堪能しました。11月に控えたポーランド公演のために駐日ポーランド共和国特命全権大使ヤツェク・イズイドルチック様も鑑賞されました。



### 来年の演目は「義経千本桜」

3月10日「太夫振舞」が行われ、来年の演目は「義経千本桜」に決定しました。撰者は一座の菅井雅哉さんが務めました。源義経の落ちを題材にした、黒森歌舞伎の十八番になります。平成22年以来10年ぶりの上演になります。加えて今年の8月には夏歌舞伎も開催します。夏歌舞伎、11月のポーランド公演でも同じく「義経千本桜」が演じられます。